

第2学年 国語科 年間指導計画

【評価方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
方法	レポート、作品 発表 スモールステップテスト 定期考査	レポート、作品 発表 スモールステップテスト 定期考査	ノート、授業観察 レポート、作品 発表 振り返りシート スモールステップテスト、定期考査

【年間指導計画】

月	単元名（題材名）	学習内容
4	見えないだけ	1 詩を通読する。 2 好きな言葉や表現を発表する。 3 詩の特徴を生かして朗読する。
	アイスブラネット	1 作品を通読する。 2 「ぐうちゃん」について整理する。 3 「ぐうちゃん」に対する「僕」の思いを読み取る。 4 「ぐうちゃん」に対する自分の思いをまとめる。 5 学習を振り返る。
	意見を聞き、整理して検討する	1 音声を聞いて意見と根拠を整理し、根拠の適切さを評価する。 2 整理したものをもとに、自分はどちらの意見に納得できるか考える。 3 学習を振り返る。
	文法への扉1 単語をどう分ける？	1 P59の導入や解説を読み、単語が幾つかの観点で分類されることを確かめ、そのうち「自立語」について学ぶことを理解する。 2 P234文法1「自立語」を読み、自立語の各品詞の性質などについて理解する。
	季節のしおり 春	春の行事・暦に関わる言葉や、春の情景を詠んだ詩歌を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。
5	魅力的な提案をしよう 資料を示してプレゼンテーションをする	1 提案内容を決めて、情報を集める。 2 効果的な話の構成を考える。 3 プレゼンテーションをする。 4 プレゼンテーションを振り返り、よかった点や改善点を考える。 5 学習を振り返る。
	枕草子	1 「枕草子」を朗読し、古文を読み味わう。 2 作者のものの見方や感じ方を読み取る。 3 自分流「枕草子」を書く。 4 学習を振り返る。
	クマゼミ増加の原因を探る	1 本文を通読する。 2 全体と部分の関係に注意して、構成を捉える。 3 文章と図表の関係に注意して、内容を読み取る。 4 考えたことを話し合う。 5 学習を振り返る。
6	情報整理のレッスン 思考の視覚化	1 教材文を読み、情報を整理し、視覚的に表す方法を理解する。 2 問題1～3に取り組む。 3 学習を振り返る。
	多様な方法で情報を集めよう 職業 ガイドを作る	1 調べる職業を決め、情報を集める。 2 集めた情報を分類・整理する。 3 紙面構成を考える。 4 下書きし、紙面を作る。 5 完成した作品を読み合い、感想を伝え合う。 6 学習を振り返る。
	漢字1 熟語の構成	1 教材文を読み、熟語の構成の種類について理解する。 2 練習問題に取り組む。 3 P40「漢字に親しもう1」に取り組む。
	漢字に親しもう2	1 新出漢字を確認する。 2 練習問題に取り組む。
	メディアを比べよう メディアの特徴を生かして情報を集めよう	1 メディアを比べて、特徴を理解する。 2 目的や状況に応じたメディアの選び方を考える。 3 情報の受け取るときの留意点を考える。 4 学習を振り返る。
7	短歌に親しむ 短歌を味わう	1 P68「短歌に親しむ」を通読し、短歌を朗読する。 2 短歌についてまとめる。 3 P72「短歌を味わう」を読み、内容や表現のしかたについて感じたことを話し合う。 4 P73「短歌を作ろう」に取り組む。 5 学習を振り返る。
	言葉の力	1 全文を通読する。 2 文章を要約して、内容を捉える。（学習①） 3 筆者の考え方について話し合う。 4 学習を振り返る。
	言葉1 類義語・対義語・多義語	1 導入の課題に取り組み、言葉どうしの関係性について興味をもつ。 2 教材文を読み、類義語・対義語・多義語について理解する。

	語彙を豊かに 抽象的な概念を表す言葉	1 リード文を読み、抽象的な概念を表す言葉を探す。 2 集めた言葉の類義語や対義語を集める。 3 言葉を比べ、用例を考える。
	読書を楽しむ	1 教材文を通読し、さまざまな読書活動を知る。 2 「本の紹介合戦」，「読書ポスター」，「本のリスト」の中から，夏休みに行う活動を選ぶ。 3 活動の内容に沿って，見通しを立てる。 4 グループごとに活動を行い，感想を発表し合う。
	翻訳作品を読み比べよう 星の王子さま 読書コラム 「わからない」は人生の宝物 読書案内 本の世界を広げよう	1 二人の翻訳者による「星の王子さま」を読み比べる。 2 翻訳や外国文学について知る。 3 P87「本の世界を広げよう」を参考に，今後読みたい本を考える。
	季節のしおり 夏	夏の行事・暦に関わる言葉や，夏の情景を詠んだ詩歌などを味わい，伝統的な言語文化に親しむ。
9	ヒューマノイド	1 全文を通読する。 2 場面の展開に注意して、人物の設定を捉える。 3 過去と現在を結び付けて、登場人物の言動を解釈する。 4 作品を読んで考えたことを語り合う。 5 学習を振り返る。
	字のない葉書	1 全文を通読する。 2 二つの思い出を整理する。 3 表現に着目して，人柄や心情について読み取る。 4 父親に対する「私」の思いについて考える。 5 学習を振り返る。
	聞き上手になろう 質問で思いや考えを引き出す	1 インタビューの準備をする。 2 インタビューを行う。 3 学習を振り返る。
	表現を工夫して書こう 手紙や電子メールを書く	1 手紙と電子メールを比較し，活用場面を考える。 2 伝えたい内容を決め，通信手段を選ぶ。 3 手紙や電子メールを書く。 4 学習を振り返る。
	[推敲]表現の効果を考える	1 木本さんの手紙の下書きを読み，適切な文字や表記に書き改める。 2 ……線部㊦㊧について，より効果的な表現を考える。 3 学習を振り返る。
	言葉2 敬語	1 導入の例文を読み，敬語の使い方について考える。 2 教材文を読み，敬語の働きや種類について理解する。 3 教材文を読み，敬語の組み合わせについて考える。
10	漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字 漢字に親しもう3	1 教材文を読み，同じ訓をもつ漢字の使い分けについて理解する。 2 教材文を読み，同じ読みで意味の異なる言葉（同音異義語）の使い分けについて理解する。 3 P121の練習問題とP122「漢字に親しもう3」に取り組む。
	モアイは語る ―― 地球の未来	1 全文を通読する。 2 文章の構成に着目し，内容を捉える。 3 論理の展開を吟味する。 4 筆者の主張に対する考えを文章にまとめる。 5 学習を振り返る。
	思考のレッスン1 根拠の吟味	1 教材文を読み，根拠を吟味する方法を理解する。 2 問題1，2に取り組む。 3 学習を振り返る。
	適切な根拠を選んで書こう 意見文を書く	1 課題を決め，分析する。 2 立場を決めて考えをまとめる。 3 反論を想定して，構成を考える。 4 意見文にまとめる。 5 意見文を友達と読み合う。 6 学習を振り返る。
	話し合いの流れを整理しよう	1 進行役になったつもりで話し合いの様子を視聴する。 2 進行役の最後の発言に続く形で、参加者から出た意見をまとめる。 3 「話し合いの流れを整理するために」を参考に、まとめた意見を見直す。 4 見直して気づいたことを手がかりに、話し合いの流れを整理するときに必要なことをグループで話し合う。 5 学習を振り返る。
	立場を尊重して話し合おう 討論で視野を広げる	1 討論のテーマを決め，情報を集める。 2 立場を決めて，考えをまとめる。 3 グループで討論する。 4 討論を振り返る。 5 学習を振り返る。
11	聴きひたる 月夜の浜辺	1 全文を通読する。 2 詩を声に出して読む。 3 表現に着目し，その効果について考える。 4 言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。
	季節のしおり 秋	・秋の行事・暦に関わる言葉や，秋の情景を詠んだ詩歌などを味わい，伝統的な言語文化に親しむ。
	音読を楽しむ 平家物語	1 「源氏と平家」の資料を読み，「平家物語」の主要な人物や主な戦いについて知る。 2 「平家物語」の概要と文章の特徴を知る。

		3 冒頭部分を音読し，独特の調子とリズム，言葉の響きを味わう。 4 冒頭部分の現代語訳を読み，「平家物語」を貫く「無常観」のイメージをもつ。 5 作品を貫く「無常観」と重ねて冒頭部分を朗読する。
	扇の的 ――「平家物語」から	1 全文を通読する。 2 「平家物語」の冒頭部分と「扇の的」を繰り返し朗読する。(学習①) 3 登場人物の言動から，心情を考える。 4 読み取ったことを基に自分の考えを述べる。 5 学習を振り返る。
	仁和寺にある法師 ――「徒然草」から	1 全文を通読する。 2 「徒然草」の冒頭部分と「仁和寺にある法師」の原文を朗読する。(学習①) 3 本文を読み，内容をまとめる。 4 法師と同じような勘違いをした経験がないかを踏まえて，考えたことを話し合う。(学習③) 5 学習を振り返る。 6 人物の特徴を捉えて，文章にまとめる。 7 文章を友達と読み合い，学習を振り返る。
	漢詩の風景	1 全文を通読する。 2 漢詩の特徴を生かして朗読する。(学習①) 3 解説を手がかりに，漢詩を読み味わう。(学習②) 4 好きな漢詩を選び，その理由を伝え合う。 5 学習を振り返る。
1 2	君は「最後の晚餐」を知っているか 「最後の晚餐」の新しさ	1 全文を通読する。 2 「君は『最後の晚餐』を知っているか」の内容を捉える。 3 文章を比較して，構成や表現の特徴を捉える。 4 考えたことを文章にまとめる。(学習③) 5 学習を振り返る。
	思考のレッスン2 具体と抽象	1 教材文を読み，具体と抽象の概念を理解する。 2 問題1，2に取り組む。 3 学習を振り返る。
	漢字に親しもう 4	1 新出漢字を確認する。 2 練習問題に取り組む。
	文法への扉 2 走る。走らない。走ろうよ。	1 P187の導入や解説，P238文法2「①活用」を読み，「活用」の意味や用語について理解する。 2 P239文法2「②用言の活用 1 動詞の活用」を読み，動詞の活用について理解する。 3 P241文法2「②用言の活用 2 形容詞・形容動詞の活用」を読み，形容詞・形容動詞の活用について理解する。
	「自分らしさ」を認め合う社会へ 父と話せば／ 六千回のトライの先に	1 「父と話せば」を通読する。 2 「六千回のトライの先に」を通読する。 3 感想を伝え合う。 4 P200「本の世界を広げよう」を参考に，今後読みたい本を考える。
	季節のしおり 冬	冬の行事・暦に関わる言葉や，冬の情景を詠んだ詩歌を味わい，伝統的な言語文化に親しむ。
1	走れメロス 「書く」作品の魅力をまとめ，語り合おう	1 全文を通読する。 2 作品の設定と構成を押さえる。 3 場面の展開に即して人物像を読み取る。 4 作品の魅力をまとめ，語り合う。 5 学習を振り返る
	漢字に親しもう 6	1 新出漢字を確認する。 2 練習問題に取り組む。
	文法への扉3 一字違いで大違い	1 P215の導入や解説を読み，付属語の働きについて考える。 2 P244文法3「①付属語」を読み，付属語の種類について理解する。 3 P244文法3「②付属語の種類 1 助動詞」を読み，助動詞の働きについて理解する。 4 P246文法3「②付属語の種類 2 助詞」を読み，助詞の種類と働きについて理解する。
2	描写を工夫して書こう 心の動きが伝わるように物語を書く	1 これまでに学習してきた物語や小説を振り返る。 2 題材を考える。 3 物語の設定とあらすじを考える。 4 構成や展開を工夫して物語を書く。 5 友達が書いた物語を読み，助言し合う。 6 学習を振り返る。
	言葉3 話し言葉と書き言葉	1 導入の例文から，話し言葉と書き言葉の違いについて考える。 2 音声の特徴から話し言葉を捉え，文字の特徴から書き言葉を捉える。
	漢字3 送り仮名	1 導入の例から，送り仮名が漢字の読みを明らかに示すために付けられていることを確認する。 2 教材文を読み，送り仮名の付け方の主な原則と例外について理解する。 3 P223の練習問題に取り組む。
	国語の学びを振り返ろう テーマを決めて話し合い，壁新聞を作る	1 グループで話し合い，壁新聞のテーマを決める。 2 壁新聞の内容を話し合う。 3 壁新聞を作る。 4 壁新聞を読み合い，感想を伝え合う。 5 学習を振り返る。
3	鍵	1 詩を通読する。 2 印象に残った語句や表現を話し合う。 3 表現の意味を考える。 4 作者のものの見方について語り合う。
	国語の力試し	1 問題に取り組む。 2 発展問題に取り組む。 3 学習を振り返る。

年間	書写	1 漢字の行書と調和した仮名の書き方を理解して書く。 2 目的や必要に応じ、楷書や行書を選んで書く。 3 書き初めを書く。
----	----	---

第 2 学年 社会科 年間指導計画

【評価方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
方法	定期テスト 小テスト	定期テスト レポート 発表等の活動の様子	授業中の様子 提出物の内容 ワークシート

【年間指導計画】

月	単元名（題材名）	学習内容
4	第 3 部 日本の様々な地域	・ 観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解する。 ・ 地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身につける。
5	4 編 近世の日本と世界	・ 近世の日本の大きな流れを、世界の歴史を背景に、時代の特徴をふまえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる。 ・ 近世の日本に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特徴などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、思考したことを説明したり、それらを基に議論したりする。
6	4 編 近世の日本と世界	
7	4 編 近世の日本と世界	
8		
9	第 3 章 日本の諸地域	・ 日本の各地方について、その地域の特徴や地域の課題を理解する。 ・ 自然環境、人口や都市・村落、産業、交通・通信、その他の事象を中核とした考察の仕方を取りあげた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解する。 ・ 日本の各地方において中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。
1 0	第 3 章 日本の諸地域	
1 1	第 3 章 日本の諸地域	
1 2	第 5 編 1 章 日本の近代化	・ 近代（前半）の日本の大きな流れを、世界の歴史を背景に、時代の特徴をふまえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる。 ・ 近代（前半）の日本に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特徴などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、思考したことを説明したり、それらを基に議論したりする。
1	第 5 編 1 章 日本の近代化	
2	第 5 編 1 章 日本の近代化	
3	第 3 部 日本の様々な地域―地域調査のしかた 第 4 部 地域の在り方	・ 地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現する。 ・ 地域の実態や課題解決のための取組を理解する。 ・ 地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解する。 ・ 地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。

第 2 学年 数学科 年間指導計画

【評価方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
方法	定期考査 SST（スモールステップテスト）	定期考査 SST（スモールステップテスト）	定期考査 SST（スモールステップテスト） 課題（誤答分析シートなど）

【年間指導計画】

月	単元名（題材名）	学習内容
4	1 章 文字式を使って説明しよう【式の計算】	・文字を使った式で事象を説明することの有用性 ・単項式，多項式，定数項の意味 ・単項式，多項式の次数と 1 次式， 2 次式の意味 ・同類項の意味 ・同類項のまとめ方 ・多項式の加法，減法の意味 ・多項式の加法，減法 ・多項式の加法，減法の縦書きの計算 ・多項式と数の乗法，除法の意味 ・多項式と数の乗法，除法 ・$(数) \times (多項式) \pm (数) \times (多項式)$ ・$(多項式) \div (数) \pm (多項式) \div (数)$ ・単項式の乗法，除法の意味 ・単項式の乗法，除法 ・単項式の乗法と除法が混じった計算 ・工夫して式の値を求めること
5		・文字を使って，整数の和の性質を説明すること ・等式をある文字について解くこと
	2 章 方程式を利用して問題を解決しよう【連立方程式】	・2 元 1 次方程式とその解の意味 ・連立 2 元 1 次方程式の必要性と意味 ・連立 2 元 1 次方程式の解の意味 ・文字を消去することの意味 ・加減法による連立 2 元 1 次方程式の解き方 ・代入法による連立 2 元 1 次方程式の解き方 ・かっこを含む連立 2 元 1 次方程式の解き方 ・係数に分数や小数がある連立 2 元 1 次方程式の解き方 ・$A=B=C$ の形の方程式の解き方 ・連立方程式の解から定数を求めること
6	3 章 関数を利用して問題を解決しよう【1 次関数】	・連立 2 元 1 次方程式を使って解を求める手順 ・数量と料金に関する問題 ・道のり，速さ，時間に関する問題 ・割合の問題
7		・1 次関数の意味 ・1 次関数になる数量の関係 ・1 次関数の値の変化 ・変化の割合の意味 ・1 次関数のグラフ ・1 次関数のグラフと比例のグラフ ・変化の割合と直線のグラフの傾き ・1 次関数の表，式，グラフの関係 ・傾きと切片を使ったグラフのかき方 ・変域が限られている 1 次関数のグラフ ・切片と傾きによる直線の式の求め方 ・1 点の座標と傾きによる直線の式の求め方 ・2 点の座標による直線の式の求め方
9		・2 元 1 次方程式の解とグラフ ・2 元 1 次方程式と 1 次関数 ・2 元 1 次方程式のグラフのかき方 ・連立 2 元 1 次方程式のグラフの交点 ・2 直線の交点の座標の求め方
10	4 章 図形の性質の調べ方を考えよう【平行と合同】	・水を熱したときの時間と水温の関係 ・移動した時間と道のりの関係 ・点の移動と三角形の面積の変化
		・直線と角 ・対頂角の性質 ・平行線と同位角 ・平行線と錯角 ・三角形の内角の和 ・三角形の内角と外角 ・多角形の内角の和 ・多角形の外角の和 ・凹四角形の角の大きさを求めること
11		・合同な図形の性質 ・三角形の合同条件 ・三角形の合同条件の適用 ・証明のしくみ ・仮定と結論 ・証明の進め方 ・角の二等分線の作図方法についての証明 ・垂線の作図とその証明
		・証明の根拠となることがら

	5 章 図形の性質を見つけて証明しよう【三角形と四角形】	・定義の意味 ・二等辺三角形の底角が等しいことの証明 ・定理の意味 ・二等辺三角形の性質 ・二等辺三角形になるための条件 ・逆の意味 ・反例の意味 ・正三角形の定義 ・正三角形の性質 ・直角三角形に関する用語の意味 ・直角三角形の合同条件
12		・平行四辺形の定義 ・平行四辺形の性質 ・平行四辺形の性質を使った証明 ・平行四辺形になるための条件 ・平行四辺形になるための条件を使った証明 ・平行四辺形とひし形，長方形，正方形の関係
1		・平行な 2 直線の間の距離 ・平行線を使った等積変形
	6 章 起こりやすさをとらえて説明しよう【確率】	・同様に確からしいときの確率 ・確率の求め方 ・確率のとりうる値の範囲 ・樹形図や表を使った確率の求め方 ・順番が関係ないことからの確率 ・あることがらの起こらない確率 ・出方の起こりやすさを調べること
2	7 章 データを比較して判断しよう【データの分析】	・四分位数，四分位範囲の意味 ・四分位数の求め方 ・箱ひげ図の意味 ・箱ひげ図を使って，複数のデータを比較すること
3		・調べたことについて，データを収集・整理し，その分布の傾向を調べ，結果をレポートにまとめること
	総合演習	・総合演習

第2学年 理科 年間指導計画

【評価方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
方法	・ 定期考査 ・ スモールステップテスト ・ 観察・実験ワークシート ・ 実験操作 ・ 提出物	・ 定期考査 ・ スモールステップテスト ・ 観察・実験ワークシート ・ 自由課題研究 ・ 話し合い、発表	・ 定期考査 ・ スモールステップテスト ・ ノート、提出物、自由課題研究 ・ 振り返り ・ 話し合い、発表

【年間指導計画】

月	単元名（題材名）		学習活動
4	単元1 化学変化と原子・分子	第1章 物質のなり立ち	・ 炭酸水素ナトリウムを加熱すると、どのような変化が起こってホットケーキがふっくらするか調べる。 ・ 実験1 炭酸水素ナトリウムを加熱したときの変化 ・ 水に電流を流すと、どのような変化が起こるか調べる。 ・ 実験2 水に電流を流したときの変化 ・ どのような物質も小さい粒子からできているか考える。 ・ 分子は、原子がどのように結びついてできているか考える。 ・ 化学式からわかることは何か考える。
5		第2章 物質どうしの化学変化	・ 物質と物質が結びつく化学変化とは、どのような変化か調べる。 ・ 実験3 鉄と硫黄が結びつく変化 ・ 化学式を使って化学変化を表すには、どのような決まりがあるか調べる。 ・ 実習1 化学変化のモデル
		第3章 酸素がかかわる化学変化	・ 物質が燃えるとき、どのような変化が起こっているか調べる。 ・ 実験4 鉄を燃やしたときの変化 ・ 金属の酸化物から酸素をとって、金属のみにするには、どうすればよいか調べる。 ・ 実験5 酸化銅から酸素をとる化学変化
		第4章 化学変化と物質の質量	・ 化学変化が起こる前と後では、物質全体の質量はどうか調べる。 ・ 実験6 化学変化の前と後の質量の変化 ・ 2種類の物質が結びつくとき、それぞれの物質の質量にはどのような関係があるか調べる。 ・ 実験7 金属を熱したときの質量の変化
6		第5章 化学変化とその利用	・ どのような化学変化でも、周囲に熱を出すか調べる。 ・ 実験8 化学変化による温度変化
	単元2 生物のからだのつくりとはたらき	第1章 生物と細胞	・ 植物のからだを顕微鏡で観察すると、どのようなつくりが見えるか調べる。 ・ 観察1 植物のからだの顕微鏡観察 ・ 動物のからだを顕微鏡で観察すると、どのような特徴が見られるか調べる。 ・ 観察2 動物の細胞の観察 ・ 生物のからだは、どのようにつくられているか調べる。 ・ 単細胞生物と多細胞生物の細胞には、それぞれどのような特徴があるか考える。
7		第2章 植物のからだのつくりとはたらき	・ 光合成は、緑色の葉の細胞の中のどこで行われているか調べる。 ・ 実験1 葉の細胞の中で光合成が行われている部分 ・ 光合成でデンプンがつくられるとき、何が材料になるか調べる。 ・ 実験2 光合成と二酸化炭素の関係 ・ 植物はいつ呼吸や光合成をしているか調べる。 ・ 植物の吸水は、蒸散とどのような関係があるか調べる。 ・ 実験3 吸水と蒸散の関係 ・ 水は、根・茎・葉のどの部分を通っているか調べる。 ・ 観察3 水の通り道
9		第3章 動物のからだのつくりとはたらき	・ 食物は、消化される過程で、どのように変化していくか調べる。 ・ 実験4 だ液によるデンプンの変化 ・ 消化された食物は、体内にどのように吸収されていくか考える。 ・ 細胞の呼吸に必要な酸素は、どのようにからだにとり入れられ、細胞に届けられるか考える。 ・ 養分や酸素、二酸化炭素は、心臓、血管、血液のはたらきによってどのように運ばれるか考える。 ・ 尿はどこで何からつくられるのか考える。
10		第4章 刺激と反応	・ 刺激を受けとっている器官には、どのようなものがあり、どのようなはたらきをするか考える。 ・ 感覚器官で受けとられた刺激は、神経系のどこを伝わり、どのようにして反応を引き起こすか調べる。 ・ 実験5 刺激に対するヒトの反応時間の計測 ・ うでやあしが動くとき、骨や筋肉は、どのようなはたらきをするか調べる。
11	単元3 天気とその変化	第1章 気象の観測	・ 圧力とは、何か考える。 ・ 気圧と風には、どのような関係があるか考える。 ・ 気象要素と天気の変化には、どのような関係があるか調べる。 ・ 観察1 校内の気象観測 ・ 水蒸気が水滴に変化する条件は、何か調べる。 ・ 実験1 露点の測定

月	単元名（題材名）		学習活動
		第 2 章 雲のでき方と前線	・雲はどのようなしくみで発生するか調べる。 ・実験 2 気圧の低いところで起こる変化 ・前線の周辺ではどのようなことが起こるか考える。
12		第 3 章 大気の動きと日本の天気	・なぜ日本付近では西から東へ天気が変わるか考える。 ・日本列島付近でふく季節風の風向が、冬と夏で変わるのはなぜか考える。 ・日本の四季に見られる特徴的な天気は、どのようにして生じるか考える。 ・翌日の天気を予想するには、どのようにすればよいか調べる。 ・実習 1 翌日の天気の予想 ・気象現象によって、どのようなめぐみや災害がもたらされるか考える。
1	単元 4 電気の世界	第 1 章 静電気と電流	・静電気には、どのような性質があるか調べる。 ・実験 1 静電気の性質 ・電流とは、何が流れているものか考える。 ・放射線には、どのような性質があり、どのように利用されているか考える。
		第 2 章 電流の性質	・回路に電流が流れるためには、どのような条件が必要か考える。 ・直列回路と並列回路の各点を流れる電流の大きさは、どのようになるか調べる。 ・実験 2 直列回路と並列回路を流れる電流 ・直列回路や並列回路の各区間に加わる電圧は、どのようになるか調べる。 ・実験 3 直列回路と並列回路に加わる電圧 ・抵抗器に加える電圧とそのときに流れる電流の大きさには、どのような関係があるか調べる。 ・実験 4 電圧と電流の関係 ・電熱線に電圧を加えたときに発生する熱の量は、何によって変化するか調べる。 ・実験 5 電熱線の発熱と電流の大きさの関係
2		第 3 章 電流と磁界	・コイルのまわりの磁界のようすは、どのようになっているか調べる。 ・実験 6 コイルを流れる電流がつくる磁界 ・磁界の中に入れたコイルに電流を流すと、コイルはどうなるか調べる。 ・実験 7 磁界の中で電流を流したコイルのようす ・コイルと磁石で電流をつくり出すにはどのようにすればよいか調べる。 ・実験 8 コイルと磁石による電流の発生 ・乾電池からの電流とコンセントからの電流は、どのようにちがうか考える。
3			

第2学年 音楽科 年間指導計画

【評価方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
方法	実技試験 授業内ワークシート ペーパーテスト	実技試験 授業内ワークシート ペーパーテスト 鑑賞文などの授業内ワークシート	ペーパーテストの合計 実技試験の合計 振り返りシート 授業内の提出物、活動の態度

【年間指導計画】

月	単元名（題材名）	学習内容
4	○響きあう合唱 「絆」	・曲ごとにパートを決め、パートごとに音取りをする。 ・他のパートを意識し、どのように歌うか工夫について考える。
5	○総合芸術の魅力に迫ろう オペラ「アイーダ」	・同じ総合芸術であるミュージカルとの違いやオペラの特徴について学ぶ。 ・「アイーダ」の作者や話の内容について理解をする。 ・実際にオペラを鑑賞し、気付いたことをまとめる。
6	○情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう。 「夏の思い出」	・「夏の思い出」の音取りを行う。 ・作詞作曲者や、歌詞の意味、表現記号について学ぶ。 ・伴奏の変化や強弱、言葉とリズムの関わりについて知覚し、どのように歌うと良いか工夫について考える。 ・工夫を生かして歌う。
6 7 8 9 10	○合唱コンクールの選曲、練習 自由曲 全体合唱	・合唱コンクールで歌う自由曲を聴き比べて選曲を行う。 ・パート練習の方法について確認し、パートごとに音取りを行う。正確な音程、リズムで歌う。 ・パート練習の最後に振り返りを行い、毎回記録をする。また、授業の始めにパートで話し合いを行い、目標立てを行う。 ・パートの役割について理解し、強弱や表現の仕方など歌い方を工夫する。 ・他のパートを意識して、ハーモニーの重なり合いを意識して合唱する。
11	○情景を思い浮かべながら、思いをこめて歌おう 「荒城の月」	・「荒城の月」の音取りを行う。 ・作詞、作曲者のことや、歌詞の内容について理解する。 ・歌詞の内容を踏まえ、曲の雰囲気を生かしながら歌う工夫について考え、実践する。
12	○言葉の特性を生かし、表情豊かに歌おう 「サンタルチア」	・「サンタルチア」の音取りを日本語で歌う。 ・イタリア語での歌詞の発音を確認する。 ・イタリア語で歌った時の声の響きや、アーティキュレーションを意識して歌う。
1	○曲の構成に注目して曲想の変化を味わおう。 「交響曲第5番ハ短調」	・オーケストラの楽器について知る。 ・ソナタ形式の音楽の変化を聴き取る。 ・ベートーヴェンの生涯について理解した上で、鑑賞する。
	○日本伝統芸能に親しみ、良さを味わおう 「歌舞伎 勸進帳」	・歌舞伎や長唄について学ぶ。 ・内容について理解を深めながら鑑賞を行う。 ・楽器の音色や長唄の特徴、舞台の特徴についてまとめる。
2	○アルトリコーダー 「喜びの歌」 「エーデルワイス」	・リコーダーの構造や奏法について理解をする。 ・運指を確認して演奏する。 ・曲に合ったアーティキュレーションを考え、表現方法を工夫する。
3	○式歌（卒業式、入学式） 「校歌」 「わが街足立」 「卒業生を送る歌」など その他	・式歌のパートを決めて、パートごとに音取りを行う。区歌はピアノ伴奏で音取りを行う。 ・歌詞から情景を思い浮かべ、曲に合った表現方法を工夫する。

第2学年 美術科 年間指導計画

【評価方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
方法	定期考査 作品 ワークシート アイディアスケッチ、下絵	定期考査 作品 ワークシート 作品説明プリント 鑑賞ノート アイディアスケッチ、下絵	授業態度、（作品、ワークシー（作品説明プリント） 鑑賞ノート、アイディアスケッチ、下絵）、作品……作 品を制作する過程において、学習をすすめる中で、身 の回りのものに興味関心を持ち、何を表現したいの か、どんな技法を使用するかを自身で決定し、すすめ られるか 提出物、授業準備、発表内容など

【年間指導計画】

月	単元名（題材名）	学習内容
4	授業開き「2学年の美術とは」	・ 真摯な心で提示されたことに対して取り組むことができたか。 ・ 1学年で学んだ基礎の復習。 ・ 人間の能力を理解し、活用できるよう目標をたてることができたか。
5	～鑑賞・知識～ 美術史／西洋美術史「光りに色をみつける ～印象派 ・新印象派～」	・ 「最後の晚餐」などの作品の鑑賞し、線遠近法、透視図法、投影図法のしくみについて学び、理解する。 ・ 印象派と新印象派の表現を学ぶ。作品を通して、写実主義から印象派への移り変わりを感じとる。 ・ 風景の作品を様々な視点で分析的に観察し、作品から感じ取られることを言葉で表現する。 ・ 印象派の絵画の中にはさまざまな技法があることを知り、その技法の特性や方法を学ぶ。
6 7	～鑑賞・知識～ 美術史／日本美術史 ～絵画～ デッサン「自分の手」「手のある空想画」	・ 日本美術史を学習し、日本の文化と世界の関わりについて学習する ・ ・ 形と明暗について学ぶ ・ 学んだ技術や知識をいかして、平面構成の作品の制作をする。 ・ 鉛筆での表現方法、技法を学習し、「自分の手」に自分の個性を表現する。 ・ 自分と向き合いイメージを具体化する。
8	～デザイン・鑑賞～ 視覚伝達「ピクトグラム」（キャリア教育）	・ 日常生活の中で見られるピクトグラムなどを鑑賞し、伝達デザインにおける形などの性質やそれらが感情 にもたらす効果を多様な視点から理解する。 ・ 伝達機能としてのデザインの役割を知り、テーマを図案化する。 ・ 知識として得た色の効果を考え、平塗りの技能を生かし、美しく平面制作を行う。 ・ 社会の諸問題について考えることは、これに参画している一員として自覚を促す。 ・ 人に訴えかけるメッセージを作品に託すことで自らの意見を他者に表明、表現させる。またお互いの作品を 鑑賞しながら自分の言動が他者の与える影響について理解することや、双方の個性を尊重させる。
9	～彫刻・鑑賞～ ・ 国内外の彫刻作品	・ 資料集などから国内外の彫刻の作品を鑑賞し、作家の心情や表現意図について考え、模写などにより、さく 集中力を高め、作品の特徴を捉え、自分の作品に活かす。
10 11 12	～彫刻～ ・ 塑造「自分の手」	・ デッサンから、手の特徴をとらえ、心情や表現意図について考え、表現をする。 ・ 粘土による造形技術、表現について意欲的に学習し、身近な道具を使う。 ・ 立体表現について理解し、感じとり、作品制作の構想に生かす。
1		
2	～デザイン・工芸～ ・ 篆刻	・ 生活を潤す工芸品を作ることの価値を知る。 ・ 世界に一つしかないデザインを考え併せ、心を込めて制作する。 ・ 生活の中の造形や美術の働き、美術文化に関心をもって、生涯にわたり美術活動を継続する心を耕す。 ・ 生活を美しく豊かにする美術の働きを理解する。
3		

第2学年 技術科 年間指導計画

【評価方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
方法	授業観察、ワークシート、課題製作品 定期考査、確認テスト、レポート 実技テスト	授業観察、ワークシート、定期考査 課題製作品、レポート、発表	授業観察（課題解決に主体的に取り組み、改善・工夫し、実践しようとしている態度） レポート、発表

【年間指導計画】

月	単元名（題材名）	学 習 内 容
4	2-1 生物育成の技術の原理・法則の仕組み ①生物育成の技術とは何だろう ②作物の育成環境を調節する技術	・生物育成の技術の目的を知る。 （食料の生産、材料・燃料の生産、健康・医療、自然環境の保全） ・生物育成の技術についてまとめる。 （育成環境を調節する技術、生物の成長を管理する技術、生物の特徴を改良する技術） ・地域の特産物を調べ、どのような技術が用いられているか調べ、まとめる。
		・作物の育成環境を調整する技術について調べる （光の管理、温度の管理、水分の管理、土の管理など） ・スプラウトの育成を行い、育成環境を調整する技術を体験する。
5	③作物の成長を管理する技術 ④動物を育てる技術 ⑤水産生物を育てる技術	・作物の成長を管理する技術について調べる。 ・作物の成長を管理する技術とその目的についてまとめる。
		・人と動物との関わりについて知る。 ・家畜としての動物の利用方法を調べる。 ・動物を健康に育てるための技術を調べる。
		・水産生物を安定的に供給するための養殖の技術について知る。 ・水産生物の健康に育てるための技術を調べる。
6	⑥生物育成の技術の工夫を読み取ろう	・生物育成の技術に込められた問題解決の工夫について考える。 ・食料の生産における問題解決の工夫などから「技術の見方・考え方」について気付いたことをまとめる。
	2-2 生物育成の技術による問題解決 ①問題を発見し課題を設定しよう ②生物の育成計画を立てよう ③成長段階に合わせて適切に育成しよう ④問題解決の評価、改善、修正	・家庭、学校、地域、社会における生物育成の技術によって解決できる問題を見つける。 ・発見した問題を解決するための課題を設定する
		・生物を育てる目的を考え、生物の育成に合わせた育成計画を立てる。 （販売用・自家消費用、食用・観賞用・加工用・飼育用など） ・（作物の栽培の場合）作物やその品種に応じた育て方を調べ、栽培計画表にまとめる。
		・安全に配慮し、成長の状態に合わせて、適切な管理作業を行う。 ・管理作業の内容を、栽培記録表にまとめる。
		・生物育成の技術による問題解決を振り返り、解決結果 及び解決過程を評価し、改善・修正する方法について考える。
7	2-3 社会の発展と生物育成の技術 ①生物育成の技術の最適化 ②これからの生物育成の技術	・自分の問題解決における最適化の場面を振り返り、社会の問題解決における最適化と比較する。 （社会からの要求、安全性、環境への負荷、経済性） ・生物育成の技術のプラス面、マイナス面について考え、これからどのように技術の最適化を図っていくとよいかをまとめる。
		・持続可能な社会を構築するために、これからの生物育成の技術について考える。

月	単元名（題材名）	学 習 内 容
9 ～ 10	3-1 エネルギー変換の技術の原理・法則と 仕組み	- 生活や社会の中で利用されているエネルギー変換の技術について調べる。 - エネルギー変換効率について知る。
	①エネルギー変換の技術とは何だろう	
	②発電の仕組みと特徴	- 発電の仕組みと特徴についてまとめる。 - さまざまな発電方法のプラス面、マイナス面について調べ、これからの発電構成割合について考える。
	③電気を供給する仕組み	
	④電気回路について考えよう	- 電気エネルギーを利用する仕組みを調べる。 - 電気回路について、電気用図記号を用いた回路図で表す。
11 ～ 12	3-2 エネルギー変換の技術による問題解決	- 生活や社会における光、熱、動力などのエネルギー変換の技術によって解決できる問題を見つける。 - 発見した問題を解決するための課題を設定する。
	①問題を発見し、問題を設定しよう	
	②電気回路を設計・製作しよう	- 設計要素を検討する。（電源、制御、負荷） - 構想をまとめ、製作に必要な図を作成して、試作、シミュレーションを行う。 - 目的の電気回路が決まったら、安全に配慮し、製作、実装、点検、調整を行う。
	③機構モデルを設計・製作しよう	
	④問題解決の評価、改善・修正	- 設計要素を検討する。（動力源、運動を伝える仕組み、仕事をする仕組み） - 構想をまとめ、製作に必要な図を作成して、試作、シミュレーションを行う。 - 目的の機構が決まったら、安全に配慮し、製作、実装、点検、調整を行う。
		エネルギー変換の技術による問題解決を振り返り、解決結果及び解決過程を評価し改善・修正する方法について考える。
1 ～ 2	3-1 エネルギー変換の技術の原理・法則と 仕組み	- 電気を安全に使用するための技術の工夫について調べ、まとめる。（漏電、感電） - 電気機器の安全な使い方について考える。
	⑤電気機器を安全に使用するための技術	
	⑥運動エネルギーへの変換と利用	- 機械が運動を伝える仕組みについて調べる。 - 機械の運動の種類とエネルギー変換についてまとめる。 （直線運動、回転運動、揺動運動）
	⑦回転運動を伝える仕組み	
	⑧機械が動く仕組み	- 回転運動を伝える仕組みの特徴と用途を調べる。 - 回転速度と回転力の関係を調べる。
	⑨機械の共通部品と保守点検の大切さ	- 往復直線運動や揺動運動などを伝えるリンク装置やカム装置の仕組みを調べる。 - 流体を用いて動く機械や熱エネルギーで動く機械を調べる。
	⑩エネルギー変換の技術の工夫を読み取ろう	- 機械の共通部品について知る。 - 機械を安全に利用するため保守点検が必要であることを知る。 - 身近な機械の保守点検をする。
		- エネルギー変換の技術に込められた問題解決の工夫について考える。 - 身近な製品の問題解決の工夫などから「技術の見方・考え方」を活用してまとめる
3	3-3 社会の発展とエネルギー変換の技術 構想しよう	- 自分の問題解決における最適化の場面を振り返り、社会の問題解決における最適化と比較する。（社会からの要求、安全性、環境への負荷、経済性） - エネルギー変換の技術のプラス面、マイナス面について考え、これからどのように技術の最適化を図っていくとよいかをまとめる。
	①エネルギー変換の技術の最適化	
	②これからのエネルギー変換の技術	持続可能な社会の構築のために、これからのエネルギー変換の技術について考える

第2学年 家庭科 年間指導計画

【評価方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
方法	授業観察 定期考査・小テスト 提出物 作品 実技テスト	授業観察 提出物 作品 レポート 発表	授業観察 提出物 ノート レポート 発表

【年間指導計画】

月	単元名（題材名）	学習内容
4	2編1章 衣服の選択と手入れ ① どうして衣服を着るのだろう ② 私らしさと T.P.O、着方の工夫 ③ 日本の文化 ④ 衣服計画と必要な衣服の選択 5 ⑤ 衣服の手入れ	・衣服の目的に応じた着方や個性を生かした着方を考えながら、衣服の働きをまとめる。 ・個性を生かした服装について知り、自分らしい着方を考える ・日本の伝統的な衣文化について知り、和服と洋服の構成や着方の違いに気づく。 ・衣服調べをして、必要な衣服の数量を把握し、過不足や処分の仕方を考える。 ・手持ちの衣服の活用を考えながら、表示や縫製の良否、手入れの方法や価格など、既製服の適切な選択方法を知る。 ・衣服の洗濯や補修などの手入れの必要性を理解し、衣服の材料や状態に応じた手入れの方法を知る。
6		
7	2編2章 生活を豊かにするために ① 作って楽しい布作品 ② 持続可能な衣生活を目指して	・生活の中で、あるといいなと思うものを考えさせる。 ・製作に必要な材料や用具、製作手順や時間などの見通しを持つ。 ・身の回りの生活を快適にしたり、資源や環境に配慮したりするなど、自分や家族、地域の人々の生活を豊かにする具体的な物を製作する。 ・持続可能な衣生活を目指して、衣服計画を立て、衣服の活用や管理の方法を工夫する。
9		
10	3編1章 住まいの役割と安全な住まい方 ① もしも住まいが なかったら ② 住まいと気候風土の関わり ③ 健康で快適な室内環境 ④ 家族の住まい方を安全・安心に ⑤ 災害への対策 ⑥ 持続可能な住生活を目指して	・住まいの役割や基本的な機能について考える。 ・自分や家族の生活と住まい方との関わりを考える。 ・和式の住まい方が現代にも受け継がれていることを理解する。 ・日本では各地の気候に合わせた住まいの特徴があることに気づく。 ・健康で快適な室内環境の条件を知り、改善方法を考える。 ・家庭内事故とその原因について知り、安全に住むために改善できることを考える。 ・住まいの災害対策について知り、災害に備えてできることを考える。 ・持続可能な住生活のために、課題を見つけ、改善方法を考える。
11		
12	4編1章 私たちの消費生活 ① 消費者としての自覚 ② 購入方法と支払い方法 ③ バランス良く計画的な金銭の管理 ④ 消費者トラブルとその対策 ⑤ 何を考えて決めますか 意思決定のプロセス	・自分や家族の消費生活を振り返り、適切な消費行動について考える。 ・契約の意味について理解する。 ・具体的な買い物の場面を取り上げ、購入方法や支払い方法について考える。 ・計画的な金銭管理の必要性を理解する。 ・三者間契約の仕組みについて理解する。 ・消費者に関わるトラブルなどの実際の例を取り上げ、その解決方法について考える。
1		・消費者トラブルの解決方法をグループで話し合い、発表する。 ・商品（物資やサービス）を適切に選択、購入する方法について考える。 ・商品の選択、購入をするときに必要な情報を収集し、整理する。 ・商品の活用方法についても考える。
2		
3	4編2章 責任ある消費者になるために ① 消費者としてできること 権利と責任 ② 省エネルギーと持続可能な社会 ③ 持続可能な消費生活	・実際の消費生活と結びつけ、消費者の権利や責任について理解する。 ・自分や家族のエネルギー消費が環境に与える影響について知らせ、エネルギー消費を減らす方法について考える。 ・持続可能な社会を目指して、自分や家族ができることを考える。
	5編1章 家族・家庭と地域 ① 私たちの生活と家族・家庭の機能 ② 中学生としての自立 ③ 家庭生活と地域との関わり	・家庭や家族の基本的な機能について考える。 ・家庭や家族の大切さについて考える。 ・自分の成長を振り返る。 ・自分と家族との生活を振り返り、中学生としての自立について考える。 ・地域の活動などを調べ自分や家族がどのように関わっているか考える。

第 2 学年 保健体育科 年間指導計画

【評価方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
方法	学習カード スモールステップテスト 定期考査 授業観察 実技テスト 発表会	学習カード 定期考査 スモールステップテスト 授業観察	学習カード 定期考査 スモールステップテスト 授業観察

【年間指導計画】

月	単元名（題材名）	学習内容
4	体づくり運動	体ほぐしの運動 集団行動 体力を高める運動
	陸上競技	短距離走、リレー
5	ダンス	ソーラン節
6	陸上競技	走り幅跳び、走り高跳び
	体づくり運動	体力を高める運動
7	体づくり運動 水泳	体力テスト 4 泳法
9	水泳	4 泳法
	器械運動	マット運動
1 0	球技（ベースボール型）	ソフトボール
1 1	陸上競技	長距離走
1 2	武道	柔道
1、2	球技（ゴール型）	バスケットボール
	体育理論	運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全
2、3	球技（ネット型）	バレーボール
通年	保健	健康な生活と疾病の予(2)、傷害の防止

第2学年 英語科 年間指導計画

【評価方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
方法	・ペーパーテスト（スモールステップテスト、定期考査、小テスト等） ・パフォーマンステスト（やりとり、発表等） ・単元リテリング、スキット ・音読	・ペーパーテスト（スモールステップテスト、定期考査、小テスト等） ・パフォーマンステスト（やりとり、発表等） ・ペア活動 ・単元リテリング、スキット ・授業内の活動	・ノート ・ペーパーテスト（スモールステップテスト、定期考査、小テスト等） ・パフォーマンステスト（やりとり、発表等） ・振り返りシート ・授業内の活動 ・授業内のプリント

【年間指導計画】

	単元名（題材名）	学習内容
4月	Unit 0 My Spring Vacation	・クラスメートのことをよりよく知るために、これまでに学んだことを用いて、自分が経験したことを伝え合う。
	Unit 1 What can we experience on a trip?	・旅行の楽しさと海外の文化や言語について考える。 ・旅行の予定を説明したり、海外で経験できることなどについて伝えたりする。 ・未来表現（“be going to”と 助動詞“will”）、SV00, SV0C（C=名詞）の文法構造を理解し、活用する。
5月	Real Life English 1 機内放送	・機内放送を聞き、必要な情報を聞き取る。
	Grammar for Communication 1	・5つの文構造の形・意味・用法を整理し、理解を確かめる。
	Unit 2 What is local food?	・日本や外国の料理のことを知り、食文化の歴史や変化について考える。 ・好きな食べ物について、理由や考えと共に紹介する。 ・（接続詞“when”，“if”，“that”，“because”）の文法構造を理解し、活用する。
	Real Life English 2 旅行先で	・場面や相手に応じて、ていねいに許可を求めたり、依頼したりする。
	Grammar for Communication 2	・接続詞を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。
6月	Unit 3 What kind of job are you interested in?	・自分の将来像や夢について考える。 ・将来像や夢などについて考え、取り組んでいきたいことについて説明する。 ・不定詞の副詞的用法（目的と原因）、形容詞的用法、“It is …+to…”の文法構造を理解し、活用する。
	Real Life English 3 仕事についてのインタビュー	・インタビューを聞き、質問の内容や答えを聞き取る。
7月	Learning Technology in English	・ロボットが活躍する社会について考えるために、ロボットの用途や長所をまとめ、考えを伝え合ったり書いたりする。
	Grammar for Communication 3	・不定詞を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。
	Stage Activity 1 My Favorite Japanese Food	・自分のいちばん好きな日本食について、その特徴や好きな理由を発表することができる。
	Let’ s Read 1 History of Clocks	・説明文を読み、時計についての歴史を読み取ったり、説明したりすることができる。
9月	Unit 4 What is important in a homestay?	・日米の生活習慣や文化のちがいを知り、ともに暮らすヒントを考える。 ・海外との生活習慣や文化のちがいを知り、取るべき行動についての考えを伝える。 ・“have to”、“do not have to”、助動詞の“must”と 動名詞（目的語と主語）の文法構造を理解し、活用する。
	Real Life English 4 ホームステイのお礼状	・お世話になった人に、手紙で感謝の気持ちを伝える。
10月	Grammar for Communication 4	助動詞を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。
	Unit 5 What design is good for everyone?	・だれもが使いやすいものや、暮らしやすい社会について考える。 ・だれもが暮らしやすい社会について考え、その方法などについて伝える。 ・“疑問詞+to”、“主語+動詞+（人）+疑問詞+to”と“主語+be 動詞+形容詞+that…”の表現の使い方を理解する。
	Real Life English 5 アナウンス・案内	・展示販売会で流れるアナウンスやスタッフの案内を聞き、イベントなどの情報を聞き取る。
11月	Learning Social Studies in English	・持続可能な社会について考えるために、SDGs の目標について理解し、取り組んでいきたいことを考える。
	Unit 6 How can we make a good presentation?	・身近なトピックを通して、調査や発表の効果的な方法について考える。 ・身近なトピックについて調査を行い、データを比べて発表する ・比較表現の文法構造を理解し、活用する。
	Real Life English 6 電車の乗りかえ	・状況や相手の要望に応じて、乗り物での行き方を伝える。
	Grammar for Communication 5	・比較表現を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。
12月	Stage Activity 2 My School and School Life	・自分の学校についてよりよく知ってもらうために、自分の学校や学校生活について、具体例をまじえながら説明する。
	Let’ s Read 2 A Glass of Milk	・物語を読み、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったり、気持ちをこめて音読したりする。
1月	Unit 7 What are World Heritage sites and their problems?	・世界遺産の特徴や抱える問題について知り、私たちが取るべき行動について考える。 ・世界遺産について知り、その特徴や価値を説明する。 ・受け身形の使い方を理解する。
2月	Real Life English 7 買い物	・自分の好みや要望を伝えながら買い物をする。
	Grammar for Communication 6	・受け身の文法構造を理解し、活用する。
3月	Stage Activity 3 Let’ s Have a Discussion	・自分たちの町の将来について考えるために、自分の立場を明確にして、意見を述べる。
	Let’ s Read 3 Pictures and Our Beautiful Planet	・人物の伝記を読んで、時系列を整理しながら内容を理解する。
随時	ALT とのパフォーマンステスト等	・授業で学んだ単語、文法や表現を活用して、ALT とコミュニケーションをとる。